

1. 基本情報

- (1) 国名：ウズベキスタン共和国（以下、「ウズベキスタン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アンディジャン州、サマルカンド州
- (3) 案件名：国際連結性強化計画(International Connectivity Enhancement Project)
- (4) 計画の要約：

本計画は、アンディジャン州及びサマルカンド州の国際幹線道路の改修及び一部拡幅（トンネル建設、橋梁の改修を含む）、防災対策、並びに道路整備機材の供与等により、物流の円滑化を図り、同国の中央アジア地域を含む国際的な連結性の向上に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ウズベキスタンは、中央アジア最大の人口を有し、アジア、中東、欧州、ロシアを結ぶ地政学的な要衝に位置している。

ロシアによるウクライナ侵略以降、ロシアを経由しない中央アジア・欧州間の物流ルートであるカスピ海ルートに対する注目が国際的に高まっており、ウズベキスタンを含む中央アジア各国は連結性の強化を方針として掲げているところ、本計画によりウズベキスタンが周辺国との連結性を強化することは、地域のニーズや期待に応える外交的意義がある。

- (2) 当該国における道路セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ウズベキスタンは、2021 年以降、実質 GDP 成長率 5%以上の経済成長を続けている（IMF、2024）。貿易も活発であり、近隣諸国との貿易額は、2024 年には対 2018 年比で 170%以上に増加した（国家統計局ほか、2025）。なかでも、キルギス共和国と国境を接するアンディジャン州及びタジキスタン共和国と国境を接するサマルカンド州は、首都タシケント特別市・州に次いで州別の対外貿易額が大きい（国家統計局、2024）。

二重内陸国の同国では、貨物・旅客輸送のうち道路輸送が 90%以上を占め、道路の重要性は大きい（世銀、2020）。特に、カスピ海ルートなど、同国を通過する主要な国際幹線道路では、貿易量増加による交通量増加が顕著であり、交通量の年平均増加率は 4～7%である（世界銀行他、2020）。上述のとおり、カスピ海ルートは、ロシアによるウクライナ侵攻後、ロシアを迂回するアジアとヨーロッパ間の代替ルートとして注目されている。また、同国の開発計画「ウズベキスタン 2030 戦略」（2023）では、「中央アジア地域での協力の深化」や「グローバル物流への統合の高度化」を目標とし、国際連結性の重要性が強調されている。

かかる状況下、同国では円滑な道路輸送が妨げられており、道路の輸送能力の強化が課題である。特に、上記の近隣国との貿易に用いられるカスピ海ルート上のア

ンディジャン州の国際幹線道路（A373）及びタジキスタン共和国から同ルートに接続するサマルカンド州の国際幹線道路（A377）では、交通量の増加に維持管理が追いつかず損傷が激しい区間がある。さらにサマルカンド州でカスピ海ルートに接続する国際幹線道路（M39）のタクタコラチャ峠は急勾配のため、大型車は約 10km を迂回する必要がある。

本計画は、アンディジャン州及びサマルカンド州での道路の改修と一部拡幅（トンネル建設、橋梁の改修を含む）、防災対策の強化、並びに道路整備機材供与等を行うことで、運輸交通セクターにおける課題解決を図るものであり、同国の開発計画に照らして優先度が高い事業と位置付けられる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容：

- ア) アンディジャン州及びサマルカンド州の道路の改修・一部拡幅
- イ) サマルカンド州のトンネル建設と接続道路の建設
- ウ) サマルカンド州の橋梁の改修
- エ) 山岳道路の防災対策
- オ) 道路整備機材の供与
- カ) コンサルティング・サービス

② 期待される開発効果：

対象道路の旅客数（97,240 人／日→約 154,000 人／日）及び貨物量（31,818 トン／日→約 50,400 トン／日）の増加により、カスピ海ルートの物流促進への貢献が期待される。

③ 借入人：経済財務省（the Ministry of Economy and Finance）

④ 計画実施機関／実施体制：道路委員会（the Committee for Roads）

⑤ 他機関との連携・役割分担：特になし。

⑥ 運営／維持管理体制：道路委員会が運営・維持管理を担う。詳細は協力準備調査で確認する。

(2) その他特記事項：

- 環境社会配慮カテゴリ分類：A
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

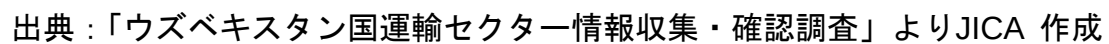
4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

スリランカ向け円借款「地方道路改善計画」（評価年度：2016 年度）等の教訓では、中央政府及び地方政府レベルにおける複数の実施機関が関与したが、代表実施機関と州レベルの事業実施ユニットが設置され円滑な事業実施につながった。本計画でも複数の州にまたがって事業を実施するが、実施機関の中央と地方の体制を十分に把握し、円滑な事業実施ができるよう、協力準備調査で実施体制を確認する。

以上

[別添資料] 地図「国際連結性強化計画」

[別添資料] 写真「国際連結性強化計画」



写真「国際連結性強化計画」



対象道路舗装状況

対象道路舗装状況



対象道路落石危険斜面

出典：ウズベキスタン国運輸セクター情報収集・確認調査